

お客様各位

株式会社セゾン情報システムズ

HULFT 事業部

HULFT Series 製品における Java の脆弱性 (CVE-2016-3587 等) に対する報告

HULFT Series 製品における Oracle Java の脆弱性 (CVE-2016-3587 等) に対する報告をご案内いたします。

－ 記 －

1. 脆弱性の内容

Oracle Java において、脆弱性が公表されました (CVE-2016-3587 等)。攻撃者に悪用されると、任意のコード (命令) が実行され、コンピュータを制御される可能性があります。

< Oracle Java の脆弱性に関する情報 >

<https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20160720-jre.html>

2. 調査状況

上記脆弱性について HULFT Series 製品における影響をご案内いたします。

< HULFT Series 製品 調査状況 - 2016年8月1日 9:00 時点 >

製品名	調査状況
HULFT	影響ありません。
HULFT BB	影響ありません。
HULFT8 Script Option	<p>下記 3 点の脆弱性の影響を受けます。 CVE-2016-3485、CVE-2016-3500、CVE-2016-3508</p> <p>HULFT8 Script Option は製品同梱の Java を使用するため、お客様での update 適用や外部 Java の使用は動作保証しておりません。お客様にて Java の update 適用は実施しないでください。 今後のリリースにて修正予定です。リリース時期は未定です。決定次第、情報を更新いたします。</p>
HULFT-HUB	影響ありません。
HULFT-DataMagic	影響ありません。
HULFT-WebFT	影響ありません。
HULFT-WebConnect	影響ありません。
HDC-EDI Suite	<p>< HDC-EDI Base ></p> <p>サーバサイドにおいて、下記 11 点の脆弱性の影響を受けます。 Oracle Java をご利用のお客様は、サーバサイドの Java 実行環境のバージョンに対する、最新 update を適用してください。</p> <p>CVE-2016-3458、CVE-2016-3485、CVE-2016-3498、CVE-2016-3500、 CVE-2016-3508、CVE-2016-3511、CVE-2016-3550、CVE-2016-3587、 CVE-2016-3598、CVE-2016-3606、CVE-2016-3610</p>

	<p><HDC-EDI Manager></p> <p>HDC-EDI Base が影響を受ける脆弱性の対応で Java 最新 update を適用する場合、<u>HDC-EDI Manager Ver. 2.5.2</u> で Java8 をご利用のお客様は、最新 update では動作しないため、HDC-EDI Manager を Ver. 2.5.3 以降にアップデートしてください。</p>
iDIVO	影響ありません。
SIGNALert	影響ありません。

【改訂履歴】

2016年8月1日	初版作成
-----------	------

以上